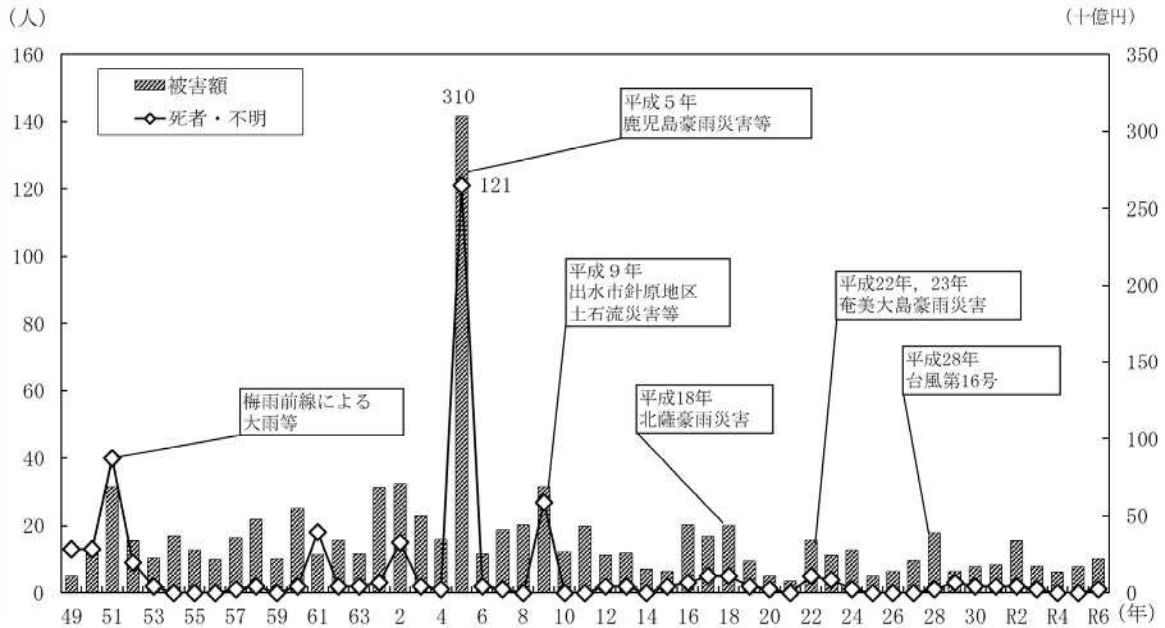


12 安全・安心

(1) 災害の状況

本県は、地理的・自然的条件から台風や集中豪雨等による自然災害の発生が多く、これまで大きな被害を受けており、特に平成5年には鹿児島豪雨災害等により甚大な被害が生じた。

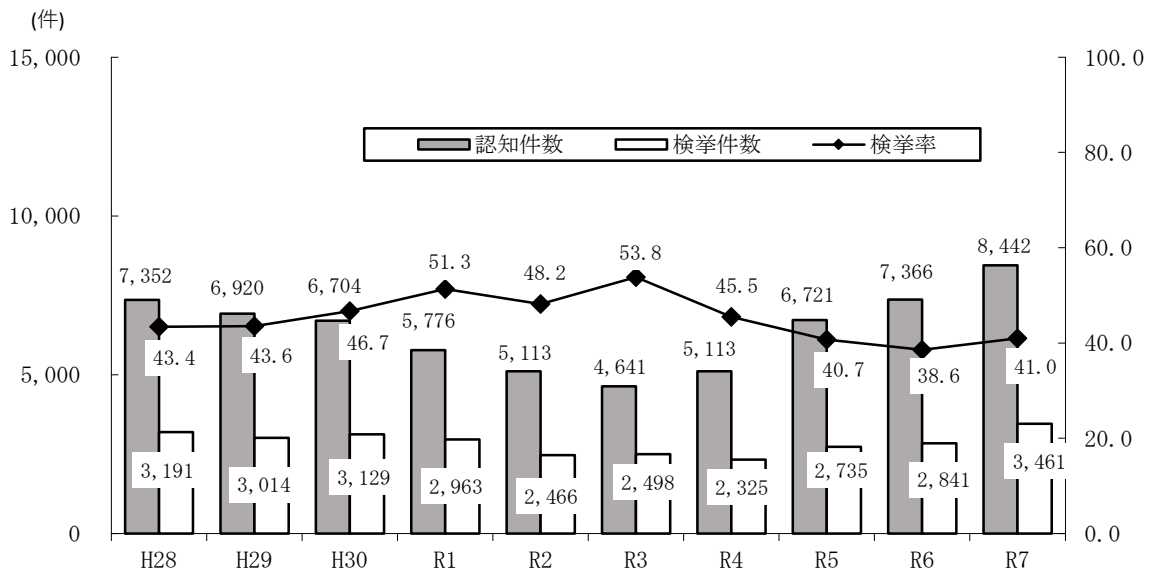


資料：危機管理防災局「災害年報」

「災害被害額」には、雨害、台風被害、その他の災害（竜巻、霜等）に加え桜島降灰災害による被害額も含む。

(2) 治安の状況

令和7年の刑法犯認知件数は8,442件（前年比+1,076件）であり、昨年より増加した。

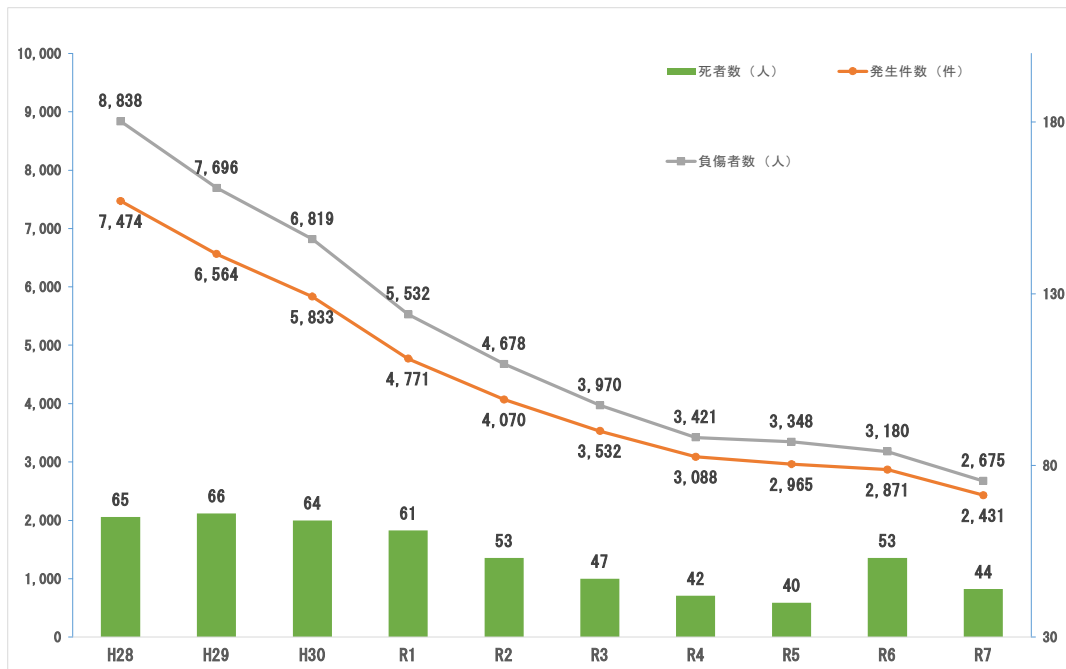


資料：県警察本部資料

※令和7年中の数値は暫定値

(3) 交通事故の状況（発生件数、死者数及び負傷者数の推移）

令和7年の交通事故は、発生件数2,431件、死者数44人、負傷者数2,675人で、昨年
に比べ発生件数、死者数、負傷者数はいずれも減少した。

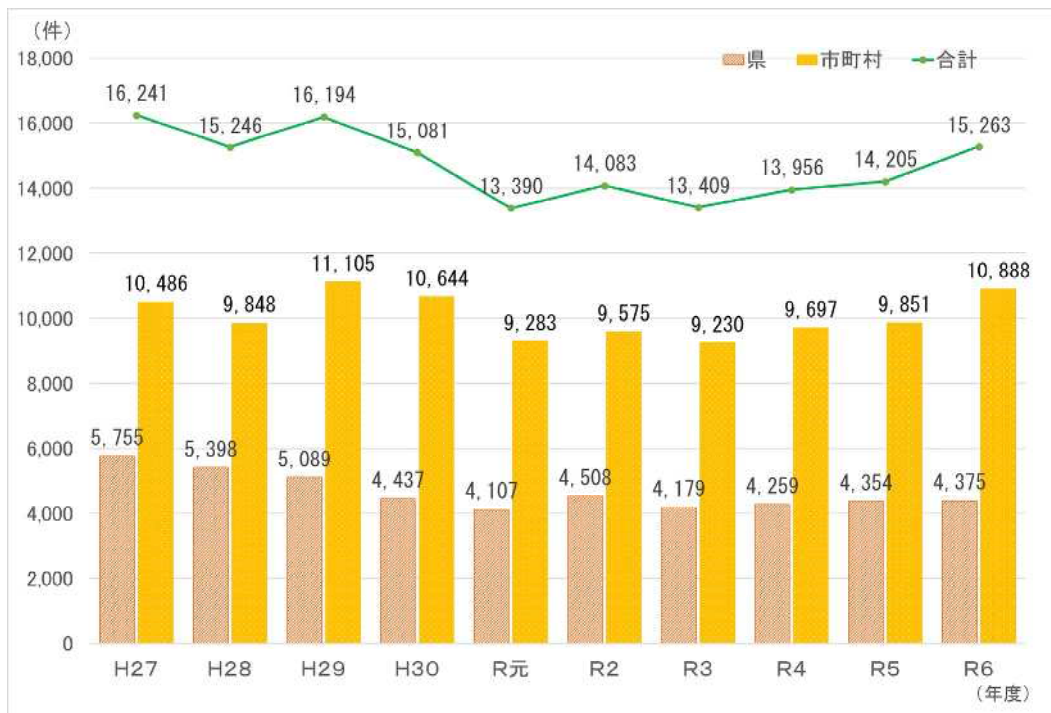


資料：県警察本部資料

(4) 消費生活相談の状況

令和6年度に県消費生活センターと県大島消費生活相談所に寄せられた相談件数は4,375件（対前年度比：100.5%）、市町村に寄せられた相談件数は10,888件（対前年度比：110.5%）で、県全体の相談件数は15,263件（対前年度比107.4%）であった。

県全体の相談件数に対する市町村の受付割合は、概ね7割程度で推移している。



資料：男女共同参画局資料

- (注) ① 県の件数は、県消費生活センターと大島消費生活相談所で受け付けた相談件数の合計
② 市町村の件数は、各市町村の消費生活センター、消費生活相談窓口で受け付けた相談件数の合計